

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%		適切に保てるよう、使用目的に応じて、お子様が集中しやすい環境設定を心掛ける。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%		基準配置を満たした人員で、質の高い療育の提供を心がけている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	83.30%	16.60%	階段が急で狭いため、滑り止め、手すりを設置している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%		基本的な清掃は毎日実施をし、空気清浄機の設置などで清潔空間を保てるよう努める。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%		運営規定及び運営方針を念頭に、全職員が運営改善に関わり、PDCAサイクルにより業務改善・品質の向上に努めている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%		毎年アンケート用紙をお配りし、集計結果を職員間で共有している。この結果を元に業務改善に努める。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%		ハッピーテラスホームページにて公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	66.60%	33.30%	第三者委員会は設置しているが、評価は行っていない。必要に応じて実施していく。訪問研修にてご指導をいただき、よりよい療育になるよう努めている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%		本部の主催する初任者研修を始め、毎月の事業所内研修、地域等の外部研修に積極的参加を行っている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%		太田ステージの発達スキル表を基にしたアセスメントツールの活用と、子ども本人の発達等の状況や家族・地域社会の状況、お子様や保護者様の意向を適切に把握することで、個別に合わせた計画の作成に努めている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%		現在、太田ステージの発達スキル表を基にしたアセスメントツール等を利用して、来所されるお子様たちの適応行動状態を図っている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%		児童発達支援計画は保護者へのアセスメントを適切に行い、お子様と保護者のニーズや課題を職員全員で客観的に分析した上で、子どもが家庭や地域社会における生活を通じて、様々な体験を積み重ねられるよう考慮して作成している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%		より質の高い効果的な支援の実施につながるよう、児童発達支援計画に基づくチームアプローチを実践し、トレーニングを行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%		利用予約状況から、その日に利用する子どもの児童発達支援計画に基づく支援経過状況や課題等を考慮し、個別の担当や集団メインスタッフがプログラムを考案し、それをもとにチームで検討を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%		職員間で情報共有し、広がりのある療育を計画し工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%		支援に関わる全職員にてトレーニングの内容や子どもの様子を共有し、共通理解と共通認識のもと、チームで支援効果を高めることができるよう努めている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		バタバタして十分でないときもある。支援に関わる全職員にて振り返りを実施し、多角的に気づきを共有し、次回からの支援につなげていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%		支援に関わる全職員にて振り返りを実施し、多角的に気づきを共有し、次回からの支援につなげていく。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		児童発達支援計画に基づく支援に対する記録を基本に、その日の状況等を毎回詳細に記録している。記入漏れがないよう、一層気を付けていきたい。	

20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	定期的なモニタリングに併せ、上記の支援記録の評価を根拠に、全指導員、児童発達支援管理責任者で話し合いながら児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。
----	--	------	---

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	83.30%	16.60%	担当者会議は管理者が参加している。多くの相談支援事業所と連絡、共有を図っている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	50%	50%	母子保健やお子様・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援が出来る体制設備が整う様に努めていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	66.60%	33.30%	現時点では医療的ケアが必要なお子様がいないため、該当なし。医療機関との連携体制は必要に応じて整えていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	75%	25%	現時点では医療的ケアが必要なお子様がいないため、該当なし。医療機関との連携体制は必要に応じて整えていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%		発達支援の連続性を図るため、保護者様の理解を得た上で、お子様の発達の状況や障害の特性、支援内容等について実際に幼稚園での様子を見させていただいたり、書面にて情報提供をしたりしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	83.30%	16.60%	月次短信等作成し、情報共有を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	66.60%	33.30%	必要に応じて相談や訪問での情報共有等を行っている。今後、研修への積極的な参加を含め、各専門機関との連携強化に努めていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		100%	ほとんどのお子様が保育園、幼稚園に通っているため、療育の時間内に障害のないお子様と触れ合う時間は設けていない。今後要望があれば検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	66.60%	33.30%	管理者が参加し、情報を共有している。今後開催がある場合は、時間を作り参加していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%		毎回保護者様に見て頂き、近況の状態やお子様の発達・課題について話をする時間を設け、共通理解を図る様に努めている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	50%	50%	ペアレントトレーニングは行っていないが、毎回の利用時に保護者様と時間を確保し、お子様への対応についての相談・支援を行っている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		ご契約を頂いた際に、お子様や保護者が児童発達支援を適切かつ円滑に利用できるよう、丁寧に説明をするよう努めている。疑問点があれば対応職員の方ですぐに対応できるようにしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%		児童発達支援計画の内容は児童発達支援ガイドラインに即した内容である。療育記録用紙に支援目標を記載し、それに沿った説明ができるように心がけている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83.30%	16.60%	毎時間保護者様のフィードバックの時間に、職員が相談を受け、助言や援助を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		100%	保護者会は実施していないが、要望があれば検討していく。引き続き保護者同士の連携を支援していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		お子様や保護者様が悩みを一人で抱え込まない様に、相談には適切に応じ、信頼関係を築くことが出来る様に努めていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		会報として発行はしていないが、連絡事項等については書面にてお知らせしている。また、活動内容についてはブログ等に掲載している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%		職員が業務上知り得た情報を漏らすことがないよう、雇用契約に明記するなどの措置を講じている。書類等も鍵付きキャビネットにしまう、PCにもパスワードを掛ける等の対策もしている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%		利用者様がわかりやすいように今後も配慮・工夫していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33.30%	66.60%	今後イベントや勉強会などを行う際には、必要に応じて公表していく。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%		マニュアルを作成し、掲示も行っている。今後も計画的に進めていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		「防災week」を設け、避難訓練日に利用がないお子様も練習できるようにしている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%		ご利用前にお電話の時点で確認させて頂いている。予防接種については短時間通園の為、確認は必須とはしていない。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%		キッズのお子様には食事提供を行っていないが、初回利用時に保護者様に確認している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%		ヒヤリハット報告書作成時には、即座に職員及び管理者に共有を図っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		年に一度社会福祉協議会が主催する虐待防止研修に参加し、全職員へ共有を図り、チェックリストを実施する等努めている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%		組織的に決定し、契約時に同意を得るようにしているが、児童発達支援計画に記載はしていないため今後必要に応じて記載をしていく。